

# HiKOKI

## 取扱説明書

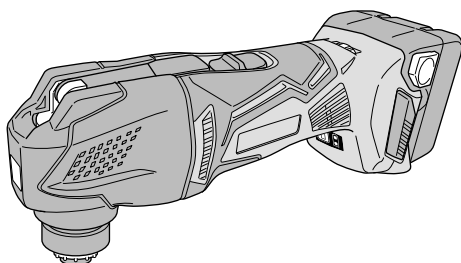
### 用途

- 各種材料の切断、ポケット切断
- コーキング・タイル等の剥離
- 木材等の研磨

## コードレスマルチツール

14.4 V CV 14DBL    18 V CV 18DBL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意…	5
USB 機器との接続時のご注意…	6
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
各部の名称…	9
仕様…	10
標準付属品…	12
別売部品…	13

### 使い方

操作方法について…	13
先端工具の取付け・取りはずし…	17
切断する…	19
研磨する…	21
蓄電池を充電する…	23
USB 機器を充電する…	25
充電器使用上のご注意…	27

### その他

保守・点検…	28
ご修理のときは…	裏表紙

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠ 警告**

#### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

#### ② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

## ⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**  
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。  
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**  
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて連ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠️注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。  
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。  
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。  
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
  - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**  
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
  - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
  - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスマルチツールとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。  
埋設物があると工具類（ブレードなど）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② シリカや石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。
- ③ 金属を加工すると火花が飛散する恐れがあります。引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
- ④ 使用中は、機体を確実に保持してください。  
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や機体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

## ⚠️ 注意

- ① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。  
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、先端工具や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ③ 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、  
触れないでください。  
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。  
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 無理に強く押しつけないでください。  
先端工具の破損や機体の損傷を招くだけでなく、けがの原因になります。
- ⑥ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。  
けがの原因になります。
- ⑦ 先端工具を取付ける際は、レバーに指などをはさまないように注意してください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。  
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑨ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水に濡らさないでください。  
誤作動等をおこす原因になります。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

## USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

**蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。**

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。



## ⚠ 警告

- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。  
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

## 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

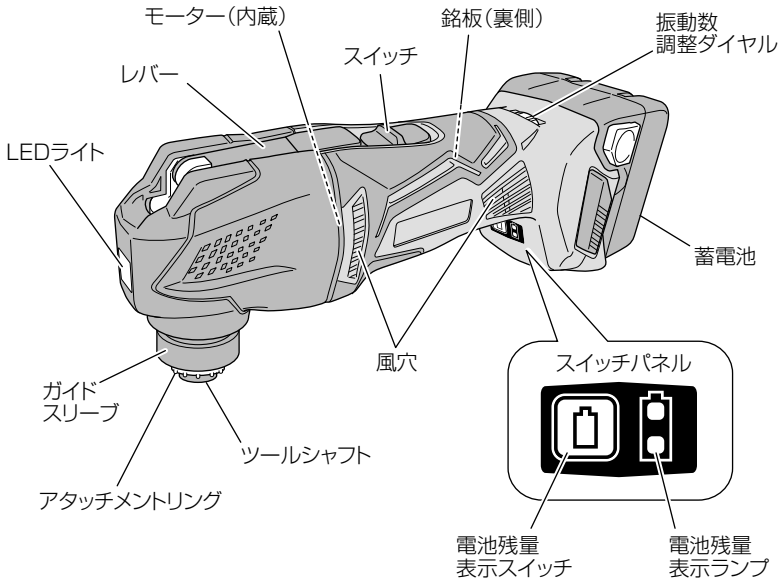
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

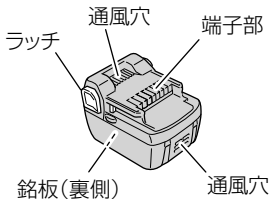
# 各部の名称

## 工具本体

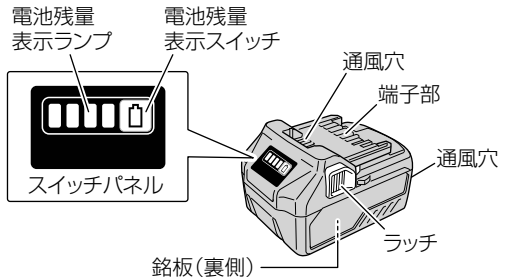


## 蓄電池

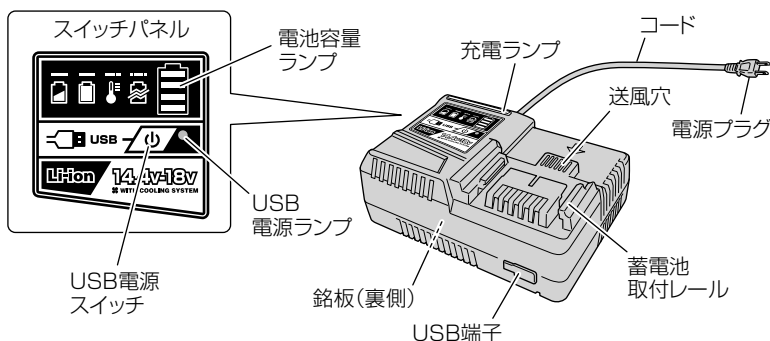
14.4V (BSL1460)  
18V (BSL1860)



36V (BSL 36A18)



## 充電器



## 仕様

### 1. 工具体

形名	CV 14DBL	CV 18DBL
モーター	直流モーター	
振動角度	3.2° (両側合計)	
無負荷回転数 (気温 20℃満充電時)	通常モード(ダイヤル 1～5): 6,000～20,000 min <sup>-1</sup> {回/分}	
	オートモード(ダイヤル A): 15,000 min <sup>-1</sup> {回/分}	
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
	電圧 14.4 V	電圧 18 V
寸法 全長×全高×全幅	307×103×81 mm (BSL 1460 装着時)	307×122×81 mm (BSL 1860/BSL 36A18 装着時)
質量	1.9 kg (BSL 1460 装着時)	2.0 kg (BSL 1860/BSL 36A18 装着時)
LED ライト	白色 LED	
残量表示ランプ	赤色 LED	
振動 3 軸合成値 <sup>※1</sup>	研磨時: 6.1 m/s <sup>2</sup> <sup>※2</sup> 切断時: 11.1 m/s <sup>2</sup> <sup>※2</sup>	

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会] ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-4、EN60745-2-11 規格に基づき測定しています。

## 2. 充電器

形 名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間*1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30分 BSL 1860 : 約 30分	BSL 1430C : 約 30分 BSL 1830C : 約 30分	BSL 36A18 : 約 25分 BSL 36B18 : 約 40分	
		BSL 1450 : 約 25分 BSL 1850 : 約 25分	BSL 1425 : 約 25分 BSL 1825 : 約 25分		
		BSL 1440 : 約 20分 BSL 1840 : 約 20分	BSL 1420 : 約 20分 BSL 1820 : 約 20分		
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コード		2心ビニールコード			
質量		0.8 kg			
使用温度範囲**2		-10 ~ 40℃			
冷却		対応 (ファン付き)			
ブザー音		あり			

※1 : 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※2 : 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

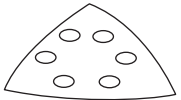


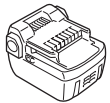

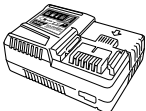

## 3. 蓄電池

形 名	BSL 1460	BSL 1860	BSL 36A18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池		
電池電圧	14.4 V	18 V	36 V / 18 V (自動切替*1)
容量	6.0 Ah		2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替*1)
冷却	対応		
使用可能なコードレス製品**2	14.4 V 品	18 V 品	18 V 品 36 V 品 : マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能な充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器		
残量表示ランプ	-		緑色 LED

※1 : 工具本体により自動で切り替わります。

※2 : 詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

# 標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	CV 14DBL		CV 18DBL		
		LYPK	NN	LYPK	LXPK	NN
パッド MU 93D		1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
サンドペーパー (#60、#120 #240 各 2 枚)		6 枚	6 枚	6 枚	6 枚	6 枚
ブレード MSD 32PBC		1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
アクセサリケース		1 個	1 個	1 個	1 個	1 個
蓄電池 BSL 1460		1 個	—	—	—	—
蓄電池 BSL 1860		—	—	1 個	—	—
蓄電池 BSL 36A18		—	—	—	1 個	—
充電器 UC 18YDL		1 台	—	1 台	1 台	—
収納ケース		1 個	—	1 個	1 個	—
電池カバー		1 個	—	1 個	1 個	—

## 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

先端工具は、同梱の別売部品一覧あるいは弊社ホームページ、または総合カタログをご覧ください。

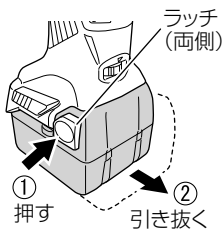
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 操作方法について

### ●蓄電池の取りはずし・取付け

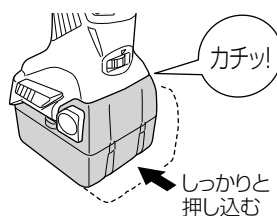
#### 取りはずすとき

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



#### 取付けるとき

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



### ●スイッチの操作について

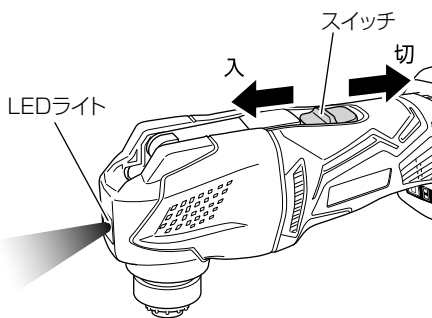
#### ⚠注意

LEDライトをのぞき込んで、直接LEDライトの光を目に当てないでください。

LEDライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。

スイッチは図の方向にスライドさせると入/切りできます。

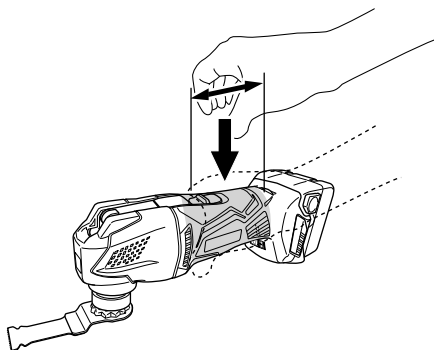
入と同時にLEDライトが点灯し、工具先端部を照らします。



## ●機体の保持について

作業するときは、片手で機体を保持してください。

また、金属部分には、触れないでください。



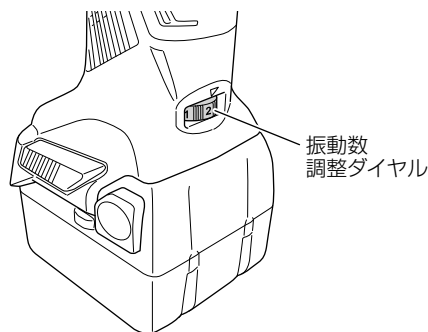
## ●振動数調整ダイヤルの操作について

本機には、「通常モード」と「オートモード」の2モードが備えられています。

「通常モード」は、振動数を  $6,000 \sim 20,000 \text{ min}^{-1}$  の範囲で無段階に設定できます。

「オートモード」は、作業の負荷に応じて、振動数を  $15,000 \text{ min}^{-1}$  と  $20,000 \text{ min}^{-1}$  に自動で切替えます。作業前・作業間の無負荷時に振動・騒音を下げます。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったモードで使用してください。



モード	ダイヤル	振動数
通常モード	1～5	$6,000 \sim 20,000 \text{ min}^{-1}$ {回/分}
オートモード*	A	$15,000 \text{ min}^{-1}$ {回/分} (無負荷および軽負荷作業時) $20,000 \text{ min}^{-1}$ {回/分}




\* 作業条件や先端工具の種類によって、振動数が  $20,000 \text{ min}^{-1}$  に上がらない場合や、 $15,000 \text{ min}^{-1}$  に戻らない場合があります。

## ● 工具本体の電池残量表示ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

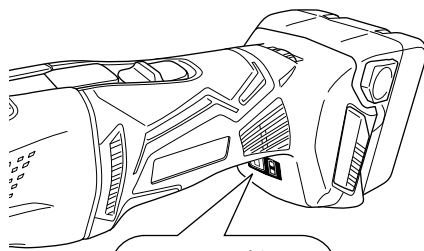
電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

**注** 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

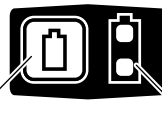
### ⚠ 注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。

故障の原因になります。



スイッチパネル



電池残量表示スイッチ

電池残量表示ランプ



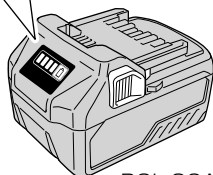
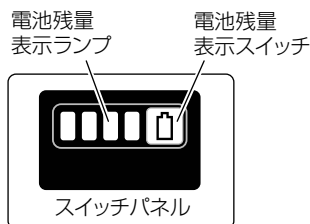
## ●蓄電池の電池残量表示について (BSL 36A18 のみ)

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



BSL 36A18

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 <sup>※1</sup>
		故障のため出力停止 <sup>※2</sup>

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 先端工具の取付け・取りはずし

## ⚠ 警告

先端工具の取付け・取りはずしの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

## ⚠ 注意

- レバーには強いバネ力がかかっています。勢いよく倒れる場合がありますので、指などをはさまないように十分に注意してください。
- 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、触れないでください。

先端工具は次の手順で取付け・取りはずしをしてください。

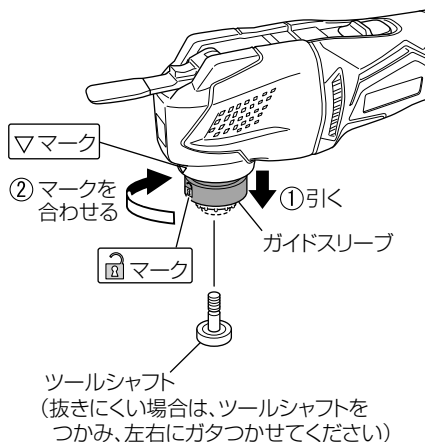
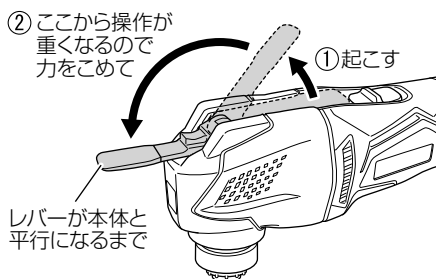
- 注**
- 先端工具の表裏をまちがえないように注意してください。
  - 先端工具の穴がアタッチメントリングの凸部に確実に入っていることを確認してください。

## 取付け

- 1** レバーを起こします。  
操作は重く感じますが、本体と平行になるまで確実にレバーを起こします。

- 2** ガイドスリーブを引っ張って回し、  
🔒マークを▽の位置に合わせます。

- 3** ツールシャフトを抜きます。




- 4** アタッチメントリングの凸部に、先端工具の穴を合わせて取付けます。  
先端工具は、取付角度を 30° ごとに設定することができます。

- 5** ツールシャフトを奥まで、しっかりとさし込みます。

**注** 必ず **6** の操作後、**7** を行ってください。

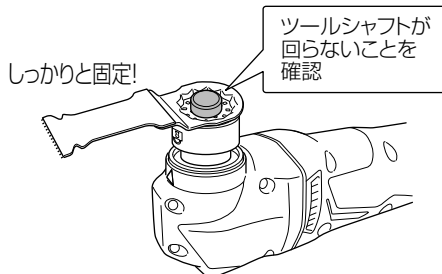
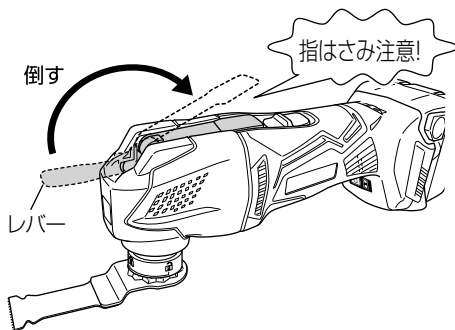
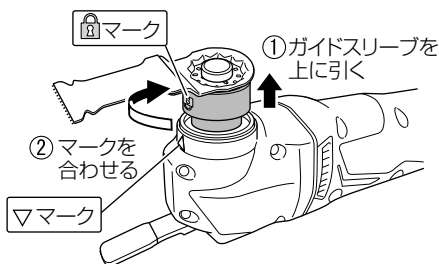
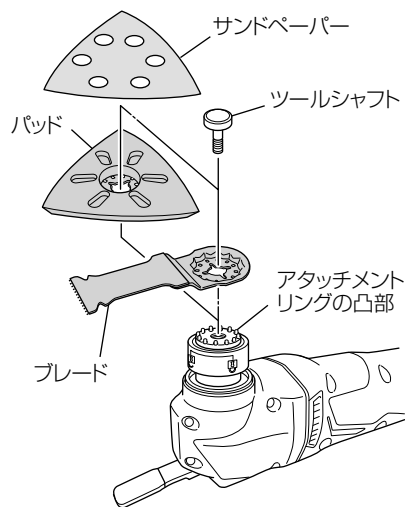
**6** と **7** の手順を逆行すると、先端工具がしっかりと固定できません。

- 6** ガイドスリーブの  マークを▽の位置に合わせます。

- 7** レバーを倒します。  
先端工具が確実に取付けられているか（ガタつきがない）を確認します。

- 8** ツールシャフトが回らないことを確認してください。

- 9** サンドペーパーは、パッドに穴を合わせて貼付けます。



### 取りはずし

取付け手順の **1** ~ **3** に従い、先端工具を取りはずします。

# 切断する

- 各種材料の切断、ポケット切断
- コーキング・タイル等の剥離

## ⚠ 警告

- 手順 ①、② ではスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- 作業中は、機体の先端部に手や顔を近づけないでください。

## ⚠ 注意

- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 能率良く切断するために、モードを作業条件、切断材料に合わせてください。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。先端工具の折損やモーターが故障する恐れがあります。

# 1

## スイッチが切れていることを確認する


(P.13「スイッチの操作について」参照)

# 2

## 先端工具を点検する

- 先端工具が正規のものか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

**注** 先端工具にガタつきがある場合、

- ツールシャフトが奥まで入っていない。
- ガイドスリーブが  の位置になっていない。
- レバーが倒されていない。

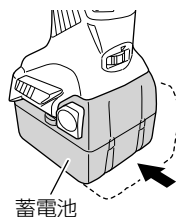
などの理由があります。

P.17「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

# 3

## 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

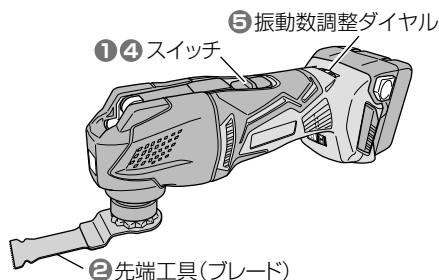


蓄電池

# 4

## スイッチを入れる

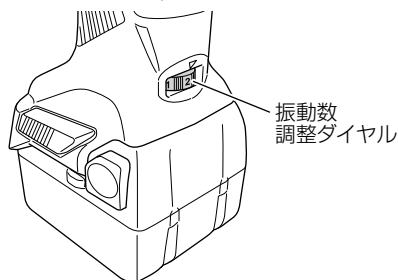
(P.13「スイッチの操作について」参照)



5

## 振動数調整ダイヤルの目盛を合わせる

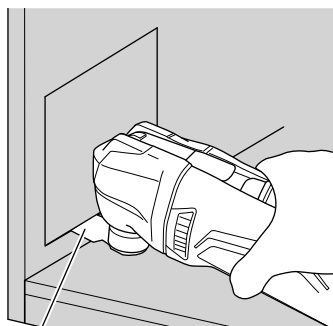
作業に応じたモードを設定します。  
(P.14「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)



6

## 切断する

先端工具を材料に軽くあて、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前に進めます。

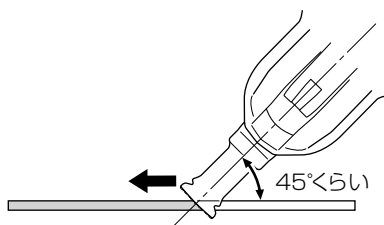


先端工具  
(ブレード)

## ●効率良くお使いいただくために・・・

### ●平板の切断方法

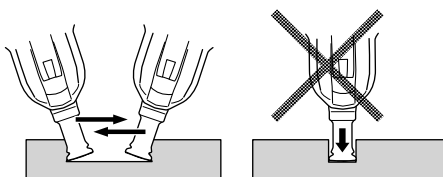
刃先を斜めに当て、平板を貫通した状態で前に進めると効率良く切断ができます。



### ●木材の深切り作業

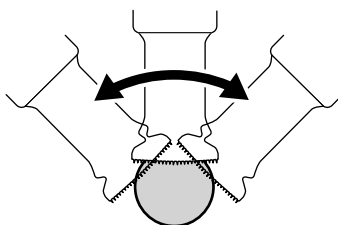
まっすぐに機体を進めて深切り作業を行うと、途中で機体が進まなくなる場合があります。

先端工具の振れ幅より穴を広げながらしづつ切り込み、最後に隅をきめると、より深く加工することができます。



### ●棒材の切断作業

先端工具の刃先のアたる角度を適度に変えながら作業すると、効率良く切断ができます。



## ⚠ 警告

- 手順 ①、② ではスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- 作業中は、機体の先端部に手や顔を近づけないでください。

## ⚠ 注意


- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 能率良く切断するために、モードを作業条件、切断材料に合わせてください。
- 研磨時は、無理な力を加えないでください。先端工具の折損やモーターが故障する恐れがあります。
- 金属の研磨に使用したサンドペーパーは、木材の研磨に使用しないでください。
- 摩耗したり、目詰まりしたサンドペーパーは使用しないでください。

## 1 スイッチが切れていることを確認する

(P.13「スイッチの操作について」参照)

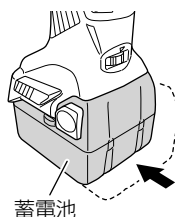
## 2 先端工具を点検する

- 先端工具が正規のものか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

- 注** 先端工具にガタつきがある場合、
- ツールシャフトが奥まで入っていない。
  - ガイドスリーブが  の位置になっていない。
  - レバーが倒されていない。
- などの理由があります。  
P.17「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

## 3 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



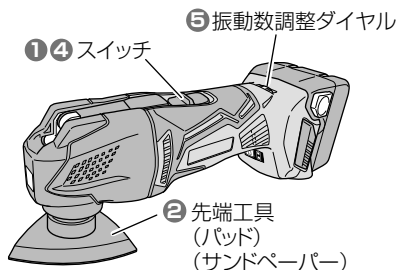
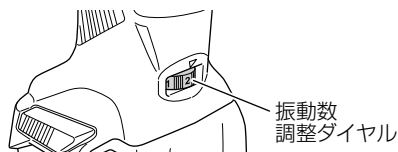
## 4 スイッチを入れる

(P.13「スイッチの操作について」参照)

# 5

## 振動数調整ダイヤルの目盛を合わせる

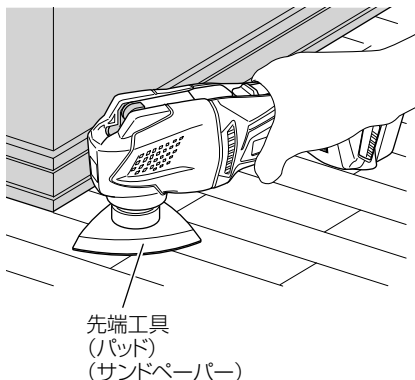
作業に応じたモードを設定します。  
(P.14「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)



# 6

## 研磨する

先端工具を材料に軽くあて、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前後に進めます。



## ●研磨のコツ

### ●サンドペーパーのあて方

サンドペーパーが加工面に一様に当たるように機体を加工面に軽く押しつけます。必要以上に強く押しつけると、モーターに無理がかかり、サンドペーパーの寿命を短くするだけで、研磨能率を悪くします。

### ●機体の動かし方

機体を手元から前方へ移動し、手元に引き戻すという往復運動を繰り返します。

### ●サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は

サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は、使用のはじめに機体がバタつくことがあります。作業ははじめの少しの間、機体を前または後に多少傾けて保持するようにしてください。

サンドペーパーがなじむにつれてバタつかなくなります。

### ●加工面が一様に研磨されるまでは

加工面が一様に研磨されるまでは同一粒度のサンドペーパーを使用してください。作業途中で粒度の違うサンドペーパーに取り換えると、きれいに仕上がらない場合があります。

### ●試し作業

不要な材料で振動数を確認してから、作業を行うことをお勧めします。

# 蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

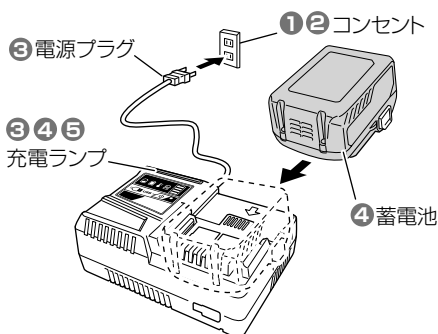
## ⚠ 警告

手順 ①、③については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 充電時間

BSL1860/BSL1460 : 約 30 分  
BSL36A18 : 約 25 分

**注** 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。  
200 V 電源や直流電源、昇圧器などの  
トランス類を使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源  
プラグが抜け落ちてしまうときは、  
接続しないでください。  
そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントに さし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。  
(P.24 「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまで  
さし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青  
に連続点灯して、充電開始をお知ら  
せします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容  
量を表示します。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑  
に連続点灯し、ブザーが「ピー」と  
6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、  
充電器から蓄電池を抜き取ってくだ  
さい。



## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。  
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音:約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯  (断続ブザー音:約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

**注** 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。  
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

## ●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
電池容量	点滅	点滅	点滅	点滅	点灯
	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

**注** 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

### ⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

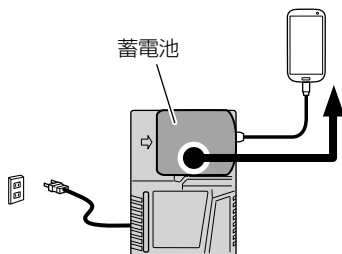
弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
  - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.27「充電器使用上のご注意」参照)。
  - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
  - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

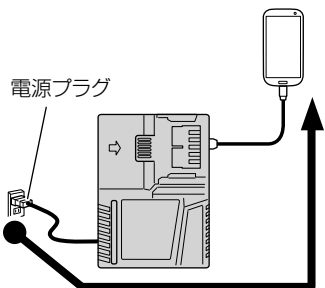
## 1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

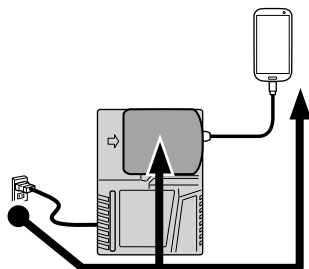
### 蓄電池から USB 機器を充電



### 100V コンセントから USB 機器を充電



### 100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



## 2 USB 電源スイッチを ON にする

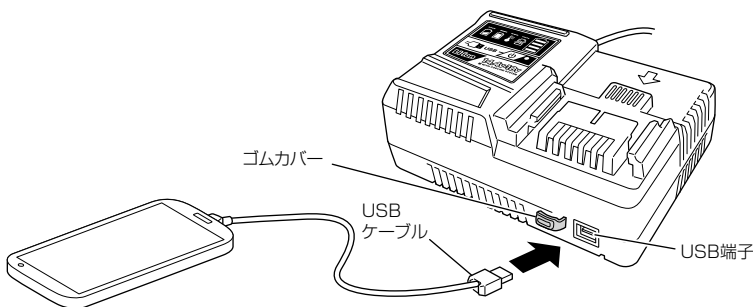
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ  
USB電源ランプ

## 3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

## 4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

# 充電器使用上のご注意

対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。  
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状況	原因	対策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

# 保守・点検

## 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ●先端工具の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに目立てするか、新品と交換してください。

## 警告

切れ味の悪くなった先端工具はそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

## ●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

## ●端子部（工具本体、蓄電池）の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

## 注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。そのまま使用すると、故障の原因になります。

## ●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

**注** 50時間くらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●製品や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

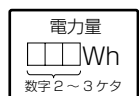
## ●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

### ⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

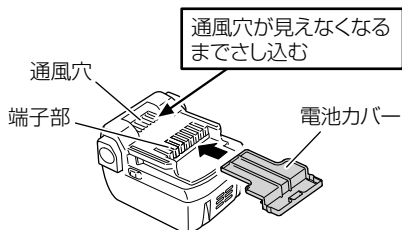


## ● リチウムイオン電池の保管について

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.hikoki-powertools.jp>